

志を果たしに、いつの日にか帰らん

前任校で、「ふるさと」をこんな歌詞にして歌っていました。卒業生のほとんどがふるさとを離れる地域でしたので、いずれはこのふるさとに戻り、ふるさとでできることをしてほしい、という願いを込めた替え歌です。

さて、この二島地区にはたくさんの二島小出身者がおられ、ずっと二島地区でいろいろなお世話をされている方々に加え、退職後に二島に戻られ、第2の人生として、ここでお力を発揮されている方々もおられます。こうした方々が二島の地域力を支えておられるのですね。本当に素晴らしいと思います。そうした方々の多くは、子どもたちが地域と関わる行事のお世話をしてくださり、地域を学ぶ授業やサタデープランなどで様々な支援をしてくださっています。二島小の子どもたちにとっての大切な「地域の先生方」です。



朝日山登山(1・2年)



地域探検(6年)



干潟調査(5年)

二島小では、発達段階に応じて子どもたちにふるさとを知る学習を仕組んでいます。そして、それぞれの子供たちが学んだことをどう生かしていくかについても学習の中に取り入れるようにしています。まずは地域に愛着を持たせること。これを小学校段階で大切にしたいと思います。そして、「二島ってどんなところ?」と聞かれた時には、胸をはってふるさと自慢ができる子どもを一人でも多く育てたいと思います。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

(※写真はいずれも10月の活動より)

コラム

～夏の日のお思い出～

大学3年生の夏に、諫早市にある重度心身障がい者施設で子どもたちの介護のお手伝いをしました。ゼミの先生に勧められて参加をしたものの、これまでこうした経験がなかったので、いろいろと不安をもったまま施設の玄関に入りました。そこで初めて見聞きした子どもたちの実態に、これまでの不安は「自分には、とてもお世話はできない」という後悔に変わりました。

とはいうものの、そこから2週間の実習がはじまるわけです。もう逃げるわけにはいきません。重度の障がいをもった施設の子供たちは、悲しいことに毎年のように亡くなっていました。そんな子どもたちのお葬式をする部屋が私たちの宿泊場所でした。なんだか子どもたちの命を預かるような気がしました。

さて、私が担当した子たちは、比較的年齢の高い子どもたちでした。子ども、とは言っても、小学校高学年くらいから20歳前後くらいの青年までがいました。重度の筋ジストロフィーと他の障がいを併せもった子どもたちの多くは、手足だけでなく、目や耳も口も不自由で、食事や排せつにもお世話が必要でした。介護士さんたちに教えられながら、そんなお世話を手伝う毎日でした。

子どもたちと触れ合う中で、最初に仲良くなったのは20歳くらいの青年です。いつも車椅子に乗り、ヘッドギアを付けていた彼とは簡単な会話ができただけで、いろいろな話をよくしました。彼は私に「俺、先生、好いと

う」と言ってくれました。

それから、彼よりも少し年上の青年ともよく散歩をしました。とても背が低く、よちよち歩く彼は普段何も話さないのですが、手をつないで散歩をするとニコニコするのです。彼はいつも胸にポケットのあるシャツを着ていました。ある日、露草を見つけた私がそれを手折って彼の胸ポケットに入れてあげました。すると、彼が突然きれいな小さな声で「からすのあかちゃん、なぜなくの…」と歌いだしたのです。後で介護士さんから、それはとてもうれしかったのでしょ、と言われました。3歳頃病気にかかった彼は、それまでの記憶がちゃんと残っているとのことでした。なんだか心があたたかくなる出来事でした。

体の大きな高校生くらいの男の子のお世話はちょっと大変でした。抱き着かれると、つぶれてしまいそうになりました。食事の時には、スプーンで柔らかいごはんをすくって口に入れるお手伝いをしていました。時々、彼は私にもそのスプーンを差し出したので、そんなときは迷わず一緒に食べましたが、これは後で看護師さんから大いに叱られました。

身体が極端に曲がった小学校の高学年くらいの男の子がいました。その子は寝たきりで何も話せませんでした。プールと一緒に入ると気持ちよさそうにいつも笑顔になりました。これもとてもうれしかったです。

そんな毎日が続く中で、どんどん彼らとの距離が縮まり、人と人とのお付き合いをしている実感がわいてきました。心って通じるんだなあ、と勝手に思っていました。

実習の終わりは彼らには伝えていませんでした。おそらくほとんどの子たちは、そのことを理解するのが難しかったと思います。お別れの日、施設の方が簡単なお別れの会を開いてくれました。彼らと離れることがとても寂しかった私ですが、そのことが彼らに理解できないだろうと思うことが、寂しさをさらに募らせました。

ホールに集まった彼らの前で、お別れの挨拶をしました。仲が良かった青年が「さびしいなあ」とつぶやきました。すると、なんとなく雰囲気伝わったのでしょうか、目や耳や口の不自由な子や足の不自由な子たちが私の周りに集まってきました。そして、次々に私の腕をぎゅっとつかみました。涙が止まりませんでした。「人と人がつながるって本当に素敵だな」と思いました。この経験が、私が教師になる思いを強く後押ししました。

彼らに会いに、次の年にも諫早に行きました。毎年亡くなっていく子どもたちに悲しい思いをしながら、ひと時でも彼らと触れ合えたことが、私にとって一生の宝物になりました。

先日、昔の写真を整理していたら、車椅子に乗ったヘッドギアの青年を後ろから抱きしめる私の写真が出てきました。暑い夏の日でした。青年はとてもいい笑顔でした。(校長)



11月の行事予定

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 2 (月) 《かぞくみんな健康デー》 | 13 (木) 外国語授業研究会 (5年) |
| 3 (火) 祝・文化の日 | 福祉体験 (4年)・ALT |
| 5 (木) 委員会活動・読み聞かせ (3年) | 16 (月) SC来校・読み聞かせ (1年) |
| TYS「mix」放映日 | 19 (木) 天然えびを使った給食 |
| 6 (金) ALT | 人権教育風船飛ばし・読み聞かせ (5年) |
| 9 (月) おはなしポッケ・いもほり1・2年 | 20 (金) ALT・さわやか朝会 |
| 教育実習開始 (6年~20日) | 23 (月) 祝・勤労感謝の日 |
| 業間走スタート | 24 (火) 第4回学校運営協議会 |
| 10 (火) 人権参観日・講演会 | 25 (水) 集金日 |
| 学年PTA活動 (1・2・4年) | 26 (木) 持久走大会試走・クラブ・ぶっくん |
| 12 (水) 《かぞくみんな健康デー》 | 教育相談デー①・読み聞かせ (6年) |
| 代表委員会・福祉体験 (4年) | 27 (金) 秋の集会・教育相談デー②・ALT |
| 読み聞かせ (4年)・ぶっくん | 30 (月) 月末大掃除・読み聞かせ (1年) |

